

教育功労



千葉 洋一さん
(78歳・茶屋場)

平成11年から平成28年まで17年の長きにわたり、町教育委員会委員および委員長を務められました。この間、卓越した指導力と豊富な識見により、町の教育、文化、スポーツの振興に多大な貢献をされました。

地方自治功労



上山 操さん
(79歳・江刈川)

平成5年から平成25年まで20年間の長きにわたり、江刈川自治会長を務められました。この間、良好な地域社会の維持と形成に取り組み、持ち前のリーダーシップで町の地方自治の発展に多大な貢献をされました。

地方自治功労



遠藤 勝昭さん
(71歳・星野)

昭和49年から現在まで42年間の長きにわたり、町統計調査員を務められています。この間、国勢調査や農林業センサスなど各種統計調査に従事するとともに、町民への統計思想の普及と町の発展に多大な貢献をされました。



功績たたえ
晴れの表彰
町勢功労者
平成28年度の町勢功労者表彰式は11月24日、グリーンテージで行われ、町の発展に貢献された3人に功労賞が鈴木重男町長から贈られました。

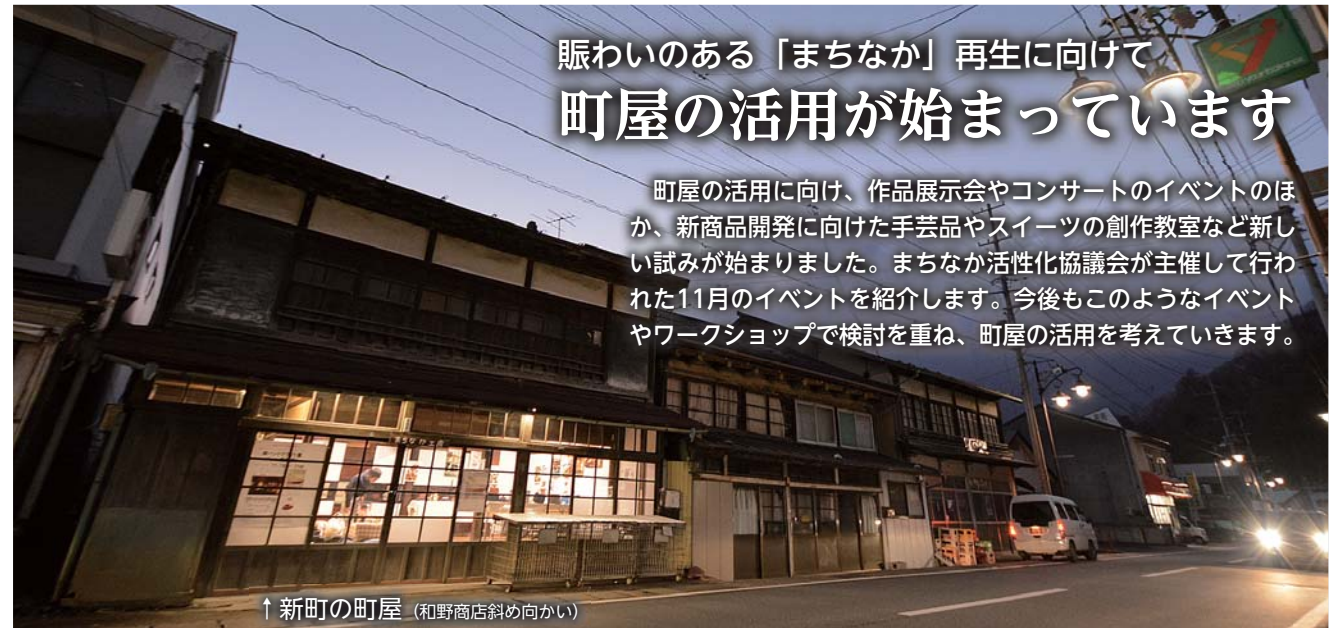
アーティストがまちなかを盛り上げる スパニッシュギターコンサート



▲ポップスやブルースなど幅広いジャンルをフラメンコ風にアレンジして演奏したドン・アルマス
◀1時間半の白熱したライブパフォーマンスに盛大な拍手が起こった

「まちなかに集おう」をテーマに11月13日、スパニッシュギターユニット「DON ALMAS」コンサートが町屋で開催され、来場した約40人が白熱のライブパフォーマンスに酔いしれました。結成11年目を迎えた桜庭伸弘さんと谷島凜樹さんの二人による同ユニットは、親善大使としての活動も多く、国内外で活躍の場を広げています。この日は、ポップスやブルース、オリジナル曲など多ジャンルをフラメンコ風にアレンジして演奏したほか、時代劇「鬼平犯科帳」のテーマ曲なども披露し、会場を盛り上げました。

賑わいのある「まちなか」再生に向けて 町屋の活用が始まっています



町屋の活用に向け、作品展示会やコンサートのイベントのほか、新商品開発に向けた手芸品やスイーツの創作教室など新しい試みが始まりました。まちなか活性化協議会が主催して行われた11月のイベントを紹介します。今後もこのようなイベントやワークショップで検討を重ね、町屋の活用を考えていきます。

↑新町の町屋（和野商店斜め向かい）

特産品活用による新商品開発を目指す 葛巻スイーツ創作ワークショップ



▲スイーツの作り方を丁寧に説明する江原さん④と熱心に耳を傾ける参加者
▶町産の食材を使用して創作したチーズタルト⑤とパンナコッタ

乳製品やワインなど町の特産品活用により新商品を開発しようと11月7日、スイーツワークショップが森のこだま館で行われ、飲食業関係者ら約10人が参加しました。神奈川県小田原市の人気スイーツ店「スイートベリー」のオーナーパティシエ江原稔夫さんが講師を務め、町産牛乳で作ったチーズのタルト、山ぶどうジュースとくずまきワインを使用したパンナコッタの2品を創作しました。江原さんは「葛巻は素晴らしい食材の宝庫。知恵を出し合って、おいしいスイーツを生み出してほしい」と期待を込めました。

新商品の開発や地域産業化を目指す 紙バンド展示会／創作講座



▲講師二人の繊細な作品のほか、町民の作品も多数展示された紙バンドクラフト展
▶紙バンドを使い丁寧に根気よく編み込んでいく創作講座の参加者たち

ものづくりを通じて新商品の開発や地域産業化を目指すとうと11月19日から21日の3日間、紙バンドクラフト展と創作講座が町屋で開催され、町内外から多くの来場者で賑わいました。創作講座は、東京を中心に創作教室を開いている湊谷由美子さん（千葉県）と、創作活動に長年取り組んでいる湊谷由美さん（青森県）が講師を務め、紙バンドを巻きながら編み上げていく「コイリング編み」と呼ばれる手法を伝授しました。20人以上が参加し、ワイン色の皿皿作りに意欲的に取り組んでいました。